

玉樹 だより

社会福祉法人 紬会 つむぎかい

2017年 4月 第40号



穏やかで過ごしやすい季節となりました。日頃より運営につきましては、利用者様や入居者様その家族様はじめ、地域の皆様方、関係各位によるご理解とご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年度、新たに始めた取組のひとつに「ウキウキショッピングバス」があります。自分では買い物に行くのが難しい方のお迎えにあがり、買い物を一緒に食事を食べ、レクリエーションを行うというものです。2016年度は12回開催し、年間延べ74名の方が参加してくださいました。日用品のみならず、家族へのお土産、旅行に行くための準備。目的のある買い物や一緒に参加された方、お手伝いしてくれたボランティアの皆さんとの交流は、生活に張りを与え、潤いのあるものに行っていると感じます。今後もこの取り組みを継続していくとともに、住み慣れた地域で安心して生活していくために「私たちにできることとは何か」を探っていきます。

また、本年度の方針の一つとして、「職員ひとりひとりが成長を実感できるような職場づくり」を目指します。キャリアパスの整備と実施を行い、社内の仕組みとして職員面談を実施します。法人理念の再確認、現在の立ち位置の確認と未来の姿が思い描く事ができるようなキャリアパス基準の運用を行います。これまでよりも積極的な内部研修の開催と外部研修への参加を推し進め、前向きな気持ちで介護ができるよう法人としてサポートし、サービスの向上につなげます。

4月1日に改正社会福祉法が施工され、当法人も新しい役員を向かえ経営組織も新たになりました。新しい職員も仲間に加わり、世代も様々にそれぞれが個性を発揮して、【普通に暮らす幸せ】の理念のもと、地域へ貢献していきたいと考えております。これからも紬会への相変わらぬご支援ご指導のほどをよろしくお願い申し上げます。

2017年4月吉日 社会福祉法人 紬会 法人本部長 吉川秀貴

掲載された写真は、本人様並びに家族様の了承の上で掲載しております

新しい仲間が増えました。

どうぞよろしくお願い致します



あじさい荘
植竹敏子さん



さくら荘
増山早紀さん



さくら荘
柴崎雅樹さん



ひまわり荘
鈴木麻佳さん



デイじゅげむ
佐藤友恵さん



看取り体験談



スライドショー



故・渡辺たか子様

ご家族様

特養 家族会 ～大切な人の最後を考える～

平成29年4月22日(土)23日(日)、特養家族説明会を開催しました。入居者様50名の内、28組の家族様が参加されました。第1部のテーマは「看取り」についてです。玉樹に入居されていた故・渡辺たか子様のご家族様より、玉樹で看取るまでを体験談としてお話していただきました。

「大切な人の最後を考える」のはとても辛いことですが、とても大切なことです。だからこそ、何度も悩み、気持ちが揺れ動く…そんな同じ家族様の立場から、リアルな声を伝えていただきました。また、入居者様の日常をスライドショーにして上映しました。嬉しそうに笑顔でご覧になられていたり、涙を流していたり…、家族様それぞれの想いが感じられる時間でした。

第2部のグループワークでは、普段はなかなか聞くことができない入居者様に対する家族様の想いや、看取りの不安、考えなど伺うことができ、職員にとっても貴重な時間となりました。

大切な人の最後はその方それぞれ…正解はありません。だからこそ、家族様と一緒に考えて、一緒に迷い、家族様が「これで良かった」と思える様に、全力でサポートさせていただきたいと思っております。

科 目	本年度予算	科 目	本年度予算
施設介護料収入	181,500,000	人件費支出	244,404,000
居宅介護料収入(介護報酬収入)	108,863,000	事業費支出	56,090,000
居宅介護料収入(利用者負担金収入)	12,867,000	事務費支出	46,724,000
居宅介護支援介護料収入	13,800,000	支払利息支出	4,550,000
利用者等利用料収入	80,010,000	その他の支出	2,300,000
その他の事業収入	895,000	設備資金借入金元金償還支出	31,768,000
借入金利息補助金収入	1,400,000	ファイナンス・リース債務の返済支出	3,655,000
受取利息配当金収入	5,000	固定資産取得支出	0
その他の収入	3,440,000	固定資産除却・廃棄支出	0
施設整備等補助金収入	0	サービス区分間繰入金支出	12,896,000
サービス区分間繰入金収入	12,896,000	予備費	0
収入合計①	415,676,000	支出合計②	402,387,000
		当期末支払資金残高	13,289,000

平成29年度
細会 収支予算書

季節を一緒に感じたい



気候も良くなり、とても暖かな日が増えていきます。特養では、お年寄りと一緒に日光浴や気分転換を兼ねてお散歩・外出をしています。日光に当たる事で身体はポカポカ・気持ちもほっこりします。玉樹の桜を見に外へ出たり、馴染みの場所や少し遠出の外出をしたり☆時期を逃さずに沢山外へ出る機会を作って行きたいです。3~4月は季節を感じて頂く為に、日常の中で少しの時間でも外気&日光浴をして頂いています。



良い事尽くめの日光浴



- ◎身体が程よく温まり血行が良くなることで
新陳代謝があがる→内臓の動きも活性化される
- ◎セロトニンが分泌される
身体の中で【メラトニン】という眠りを誘う睡眠ホルモンに変化する→安眠できるようになる
セロトニンは腸内に95%有り、腸の蠕動運動を促すと言われています。
- ◎身体の中でビタミンDが生成される
カルシウムの吸収率がUP! 免疫力がUP!
夏から秋にかけて日光浴の時間が多い人はインフルエンザ罹患率が低下したというデータがあるそうです。



季節を感じたい ～すみれ荘～



桜が満開の晴れた日☆特養すみれ荘では全員で『お花見ランチ会』を行いました。
大好きなお蕎麦！お肉料理！ビール！と食べたいものや飲みたいものを桜の木の下で・・・
いっぱい話して大笑いして、心もお腹も満腹☆幸せな気分になりました。
「楽しかったよ！また来年も」と約束をしました。

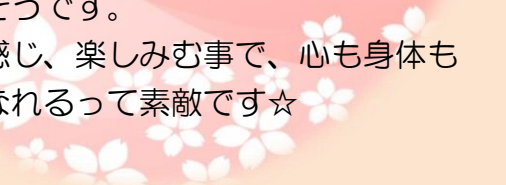


秘められた桜パワー

桜の花の香りには・・・・・・・・

- ◎鎮静作用
 - ◎血圧を下げる
 - ◎喘息症状の緩和
 - ◎2日酔い防止
 - ◎リラックス効果
- があるそうです。

季節を感じ、楽しみむ事で、心も身体も
元気になれるって素敵です☆





♡いつでも安心して泊まれる場所♡

ショートステイでは、定期的に利用される方ばかりではありません。急に在宅での生活が難しくなり、緊急利用される方もいらっしゃいます。だからこそ、利用者様、家族様が急遽困ってしまった時に迅速に対応できるような受け入れを心がけています。

緊急利用 ノブさんの場合



ノブさんは、奥様と一緒に仲良くデイサービスを利用されており、ご自分で歩くことができていました。しかし、ある日、自宅で急に腰が痛くなり、起き上がることさえ難しくなってしまったのです。そこで、ノブさんを万全の体制で受け入れるため、急遽話し合いを行い、ショートを利用することになりました。



最初は、ベッドから起き上がることも難しい状態でした。しばらくして、少しずつ痛みは軽減しましたが、急な体調の変化にノブさんの気持ちが不安定になり、ベッド上で過ごす時間が多く、起きる意欲が低下していました。このまま、寝たきりになってしまったら「自宅で生活できなくなってしまう」と家族様の不安も募っていました。そこで、ノブさんの気持ちが前向きになれるよう声をかけていき、ベッドから起きてリビングで過ごす時間が少しずつ増えていきました。しかし、その頃から繰り返し発熱されるようになり、入院となってしまいました。



入院されたときは寝たきりになってしまうのではないかと心配しましたが、退院され玉樹へ戻られてから現在ではシルバーカーで歩行され、ご自分でトイレに行ける状態にまで良くなっています。



家族様から相談を受け、早急にショートステイを利用できるよう調整できたこと、また、急遽で詳細な状態は分かりませんでした。が、カンファレンスを行い、今考えられる必要な環境や受け入れ態勢を迅速に整えられたことが、私たちの貴重な経験になったと思います。



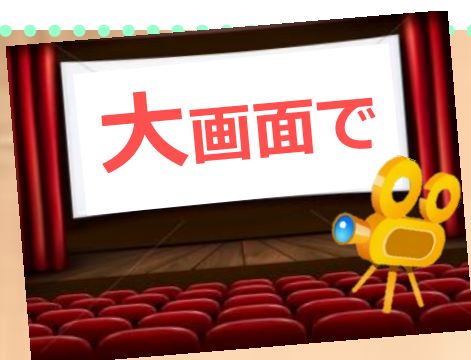
これからも、困った時にいつでも安心して利用でき、「玉樹に相談すれば大丈夫」と思っただけのように頑張っていきたいと思えます。



大切な日と一緒に お祝いしたい part2

昨年の玉樹だより7月号でお伝えした誕生日会の進捗です。年に1度の大切な日を、利用者様それぞれの担当職員が企画して、みんなと一緒に祝いしています♪





“楽しい”を分かち合おう

デイサービスでは、利用者様同士、利用者様と職員と一緒に楽しむツールとして、プロジェクターでの鑑賞会を開催しています。壁一面にプロジェクターを投影しての大画面でのビデオ鑑賞は、みんなで見る事ができて、迫力も満点でした。

大切にしたのは、利用者様だけで観て楽しむのではなく、職員も同じ時間を過ごして一緒に楽しむということです。楽しいことはみんなでシェアしたらもっと楽しいはず！利用者様同士、職員同士だけではなくて、混ざって一緒に楽しむ。隣に座って一緒に観て過ごし、たくさん笑い合いました。

また、デイサービスでは昨年度から、お道具箱など利用者様一人ひとりの個別活動の充実に取り組んできて、徐々に「個々の楽しみの時間」を作ることができるようになってきました。だからこそ、みんなで一緒に過ごしたり、一緒のことをする“たまに”の時間がまた楽しめるのではないかと思います。「自分の時間」と「みんなで過ごす時間」どちらも楽しめたらステキだなと思います。

一緒だからできることや、大人数だからこそより楽しめることもたくさんあります。職員も一緒に、大人数で楽しい時間を分かち合う。そうすることで自然と会話が膨らんでいたり、笑顔が広がっていきたりする・・・。そんな時間を大切にしていきたいと思います。



12月に開催した「玉樹のど自慢大会」。生で見られなかった方からの要望で上映しました。出場した利用者様は、皆さんからの拍手喝采と絶賛の声に照れながらも大喜び♪



若い頃に見た懐かしい映画や歌を鑑賞。「青春時代を思い出すわ」との声も聞かれ、沢山の思い出話が出てきました♪



元々は職員会議用に作成したのですが、利用者様と一緒に観ることで、1年を思い返しながら「また楽しい1年を過ごそうね」と笑い合いました♪



春のおでかけ 愛おしい存在

じゅげむでは今年度、「春」「夏」「秋」「冬」…季節ごとの外出を目標にしています。春といえば「桜」。桜の花は「春の一時」にしか愛でることができません。じゅげむの利用者様も「その一時」を心待ちにしていच्छやいました。

「最近目が見づらくなった…」と、以前は新聞を隅々まで読んでいた方が、最近では新聞を手にとることも少なくなり、「見る」ことに興味が持たなくなっていた様子でした。しかし、「桜」の小さな蕾を発見し、誰よりも早く職員に教えて下さいました。お話を伺うと「じゅげむに来た時は、いつでも目を凝らして見てたんだ！桜は特別だ！」と教えて下さいました。そして、毎回じゅげむのテラスから見える大きな桜の木を、長い時間眺めていच्छやいました。

そして、そんな想いを受け止めつつ、利用者様と一緒に外出時のおやつも決め、皆さんとお花見に出かけることになりました。すると、好き・大切・想うが皆さんそれぞれの心の中ではじけています。ウキウキ、ワクワクの情熱が伝わってきます。

ある方は、普段、音楽体操では腕を上げると痛みが生じていましたが、桜の花に触れようと、高く高く腕を空へ伸ばしておられました。お出かけて、春の空気、桜の綺麗なピンク色、香りに自然に心が躍り、手を伸ばす…。「愛おしい」物、人、音、香り。それらを見つけた時、感じられた時の利用者様の目の輝きはとても美しく、何度でも見せてほしいと願います。私たち職員にとって利用者様は「愛おしい存在」なのです。

大切な時間、瞬間を共に過ごさせていただけるように、これからも、ひとりひとりの「心の声」を丁寧にひとつずつすくい、応えていきたいと想います。



じゅげむのリビングから見える桜



八千代公園の桜並木



玉樹の桜の木の下でランチタイム



一緒に選んだおやついちご大福♪



地域づくりを目指して

平成29年度、居宅介護支援事業所玉樹としては、前年度の目標であった「ひとりひとりをよく知る」を継続させつつ、「地域の資源づくり」に目を向けていきたいと思っています。平成29年度から全国的に総合事業が開始となりました。今後は、「地域づくり」が重要であり、それにあたっては、まだまだ地域の資源不足を感じています。

地域資源を開発するにあたっては、まずは地域をよく理解する事が大切です。地域にある資源をまずはきちんと知り活用できるようにする。顕在化、潜在化しているニーズを見極め、利用者様のニーズと地域資源をつなぐ視点を持つことが大切だと思います。

玉樹では、H28年度から月に1回「ウキウキショッピングバス」として買い物支援を行ってきました。参加者の反応も良く今年度も継続して行っています。今年度は、このウキウキショッピングバスの対応を居宅のケアマネジャーが中心となり参加者の皆様からの声を聴き、今後の地域の資源づくりのヒントになればと考えています。

ケアマネジャーとして幅広い視点で考え、利用者の皆さんが地域で生き生きと暮らすことができるように支援していきます。

ウキウキショッピングバス

食料品
衣料品
生活雑貨
タイソー
100円均一

行き先(お座)は
開催日により
異なる場合あり

**「買い物に行きたくても、なかなか行けない…」と思っている方へ
お買い物をサポートします！**

10:00頃
ご自宅に
お迎え

お店で
お買い物

昼食(お弁当や外食)
玉樹で交流&体操など

14:00頃
ご自宅まで
送迎

●開催日 (平成29年) 4月12日(水) 5月17日(水) 6月14日(水)
7月19日(水) 8月9日(水) 9月20日(水)

●参加条件: 介護保険 通所サービス利用日以外

●対象: 下記サービス利用者様
・デイサービスセンター 玉樹 ・ショートステイ玉樹
・デイサービスセンターじゅげむ ・居宅支援事業所 玉樹

●参加費用: 無料 ※お買い物は自費



編集後記

春といえば出逢いと別れの季節。「逢うは別れの始め」(出逢った人とは、いつか必ず別れが訪れる)ということわざがあるように、縁あって出逢った仲間や利用者様と過ごす時間を1日1日大切にしたいと思っています。

◆発行◆



社会福祉法人 紬会

TEL0296-49-3886

FAX0296-49-2987

<http://www.tamaki.or.jp>